

理工学部 建築学科

履修モデル

建築分野で建築意匠設計をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築意匠設計・インテリアデザイナー

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、建築意匠設計をめざすための専門科目である建築デザインⅡ・Ⅲ、都市計画、日本建築史、アジア建築史、近代建築史などを履修することで、建築意匠設計に必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分		授業科目			
		1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部 総合基礎部門					
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	理工学概論 コンピューターリテラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 基本空間デザインⅠ・Ⅱ CADデザイン	建築計画Ⅲ 住宅計画論 建築法規行政 建築デザインⅠ・Ⅱ インテリアデザイン	地域計画
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史 日本建築史	近代建築史	アジア建築史
	環境・設備	建築環境概論	建築環境工学 建築環境物理 建築設備概論		
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築各種構造Ⅰ・Ⅱ	建築構造計画	
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築生産概論		
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	設計総合演習 ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業研究・卒業制作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築分野で構造設計技術者をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築構造設計

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、構造設計技術者をめざすための専門科目である構造力学Ⅲ、Ⅳ、金属系構造デザイン、コンクリート系構造デザイン、耐震工学、都市防災などを履修することで、構造設計技術者に必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分		授業科目			
		1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部 総合基礎部門					
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	理工学概論 コンピューターリテラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 基本空間デザインⅠ・Ⅱ CADデザイン	建築法規行政 建築デザインⅠ	地域計画
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史 日本建築史		
	環境・設備	建築環境概論	建築環境工学 建築環境物理 建築設備概論	建築設備工学Ⅰ	
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築各種構造Ⅰ・Ⅱ	建築構造計画 建築構造デザインⅠ・Ⅱ 建築構造実験 耐震工学	建築構造設計 都市防災
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築生産概論	建築材料実験 建築生産Ⅰ・Ⅱ	
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	設計総合演習 ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業研究・卒業制作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築分野で環境・設備設計技術者をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築設備設計

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、環境・設備設計エンジニアをめざすための専門科目である建築環境工学、建築設備工学、建築環境実験、建築環境計画などを履修することで、環境設計エンジニアに必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分		授業科目			
		1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部 総合基礎部門					
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	理工学概論 コンピューターリテラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎I・II	建築計画I・II 都市計画 基本空間デザインI・II CADデザイン	建築法規行政 建築デザインI	地域計画
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史 日本建築史		
	環境・設備	建築環境概論	建築環境工学 建築環境物理 建築設備概論	建築環境計画 建築環境実験 建築設備工学I・II	都市環境デザイン
	構造	構造力学概論 構造力学I 建築構造概論	構造力学II・III 建築各種構造I・II	建築構造計画	
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築生産概論	建築材料実験	
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	設計総合演習 ゼミナールI・II	卒業研究・卒業制作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築分野で施工管理をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築施工管理

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、一級建築士受験資格を得るための必修科目でもある建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、施工管理をめざすための専門科目である建築材料、建築材料実験、生産工学Ⅰ、Ⅱ、建築維持保全などを履修することで、施工管理上必要な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分		授業科目			
		1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部 総合基礎部門					
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	理工学概論 コンピューターリテラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ	建築計画Ⅰ・Ⅱ 都市計画 基本空間デザインⅠ・Ⅱ CADデザイン	建築計画Ⅲ 建築法規行政	
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史 日本建築史		
	環境・設備	建築環境概論	建築環境工学 建築環境物理 建築設備概論	建築環境計画	
	構造	構造力学概論 構造力学Ⅰ 建築構造概論	構造力学Ⅱ・Ⅲ 建築各種構造Ⅰ・Ⅱ	建築構造計画 建築構造実験	
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築生産概論	建築材料実験 建築生産Ⅰ・Ⅱ	建築維持保全
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	ゼミナールⅠ・Ⅱ	卒業研究・卒業制作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建築関連分野をめざす

想定される具体的な進路・職種

公務員、不動産関連

建築学においては総合的な能力が必要とされるため、建築史、建築計画、建築環境、建築構造、建築材料の各概論を始めとするコア科目を履修することを前提とします。そのうえで、建築関連分野をめざすためには広範囲の知識が必要となるため、建築学の各分野の科目である建築設計系科目、建築構造系科目、建築環境系科目などを幅広く履修することにより、建築関連分野に必要な総合的な知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

■ - 必修科目 ■ - 選択必修科目 ■ - 選択科目 ■ - 自由科目

区分		授業科目			
		1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部 総合基礎部門					
専門 教育 部門	理工学 基礎科目	理工学概論 コンピューターリテラシー	技術者倫理		
	計画	建築計画概論 デザイン基礎I・II	建築計画I・II 都市計画 基本空間デザインI・II CADデザイン	建築計画III 住宅計画論 建築法規行政 建築デザインI	
	歴史・意匠	建築史概論	西洋建築史 日本建築史		
	環境・設備	建築環境概論	建築環境工学 建築環境物理 建築設備概論	建築環境計画 建築設備工学I	
	構造	構造力学概論 構造力学I 建築構造概論	構造力学II・III 建築各種構造I・II	建築構造計画	
	材料・生産	建築材料概論	建築材料 建築生産概論	建築材料実験 建築生産I・II	建築維持保全
	建築総合	ワークショップ	建築応用数学	ゼミナールI・II	卒業研究・卒業制作

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。